

7月豪雨は過去最大クラスの広域災害 ～令和2年の土砂災害発生件数の速報値を公表～

令和2年の土砂災害発生件数^{※1}は1,316件で、平均の約1.2倍。

令和2年7月豪雨は、記録に残る主な自然災害^{※2}の中で、土砂災害の発生が確認された都道府県数は1番多く、発生件数においても3番目であり、過去最大クラスの広域災害であった。

※1 土石流等、地すべり、がけ崩れが発生した件数(火砕流は除く)。1月1日から12月22日までの速報値。

※2 集計開始の昭和57年以降において、土砂災害発生件数の記録が残っている気象現象等(豪雨、台風、地震など)。

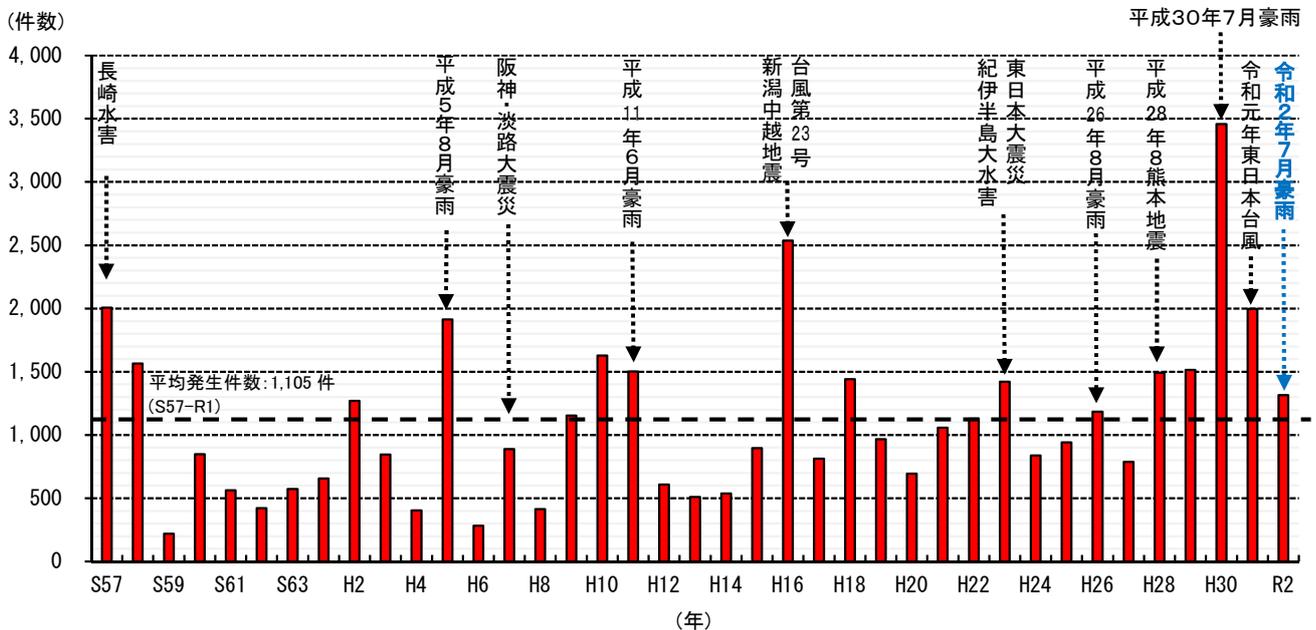


図. 土砂災害発生件数の推移 (S57～R2)

【今年の土砂災害】

46都道府県で1,316件の土砂災害が発生し、平均発生件数(S57-R1)の約1.2倍

地すべりの発生件数(116件)が、直近10年(H22-R1)の平均発生件数(109件)を上回った。

令和2年7月豪雨は37府県で961件の土砂災害をもたらし、過去最大クラスの広域災害

7月豪雨で最も被害が大きかった熊本県では集計開始以降最多の発生件数(227件)を記録。

(これまでの最多件数は、平成28年の223件)

(問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部保全課 土砂災害対策室

課長補佐 安藤 詳平(内線 36232) 係長 中村 祐輔(内線 36244)

代表:03-5253-8111 直通:03-5253-8470 FAX:03-5253-1611

土砂災害に関する情報は、砂防部HP : <http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html>

- 令和2年の土砂災害は、46都道府県で**1,316件**発生し、**平均発生件数※1**の約**1.2倍**を記録。
また、地すべりの発生件数(116件)が、直近10年(H22-R1)の平均発生件数(109件)を上回る。
- 死者・行方不明者**21名**、人家被害**252戸**の被害が発生。
- 令和2年7月豪雨では、**37府県**で**961件**の土砂災害が発生。
- 7月豪雨で最も被害が大きかった**熊本県**では、年間**227件※2**の土砂災害が発生し、**集計開始以降最多の年間発生件数**を記録した(これまでの最多件数は223件(H28))。

表1. 都道府県別の土砂災害発生件数 上位5県(速報値)

	都道府県	件数	死者・行方不明者数	過去10年最多(H22-R1)
1位	熊本県	227件	11名	223件(H28)
2位	鹿児島県	121件	—	202件(R1)
3位	神奈川県	104件	1名	214件(R1)
4位	長野県	99件	1名	79件(R1)
5位	長崎県	73件	2名	96件(H28)

土砂災害発生件数

1,316件

土石流等 : 223件
地すべり : 116件
がけ崩れ : 977件

【被害状況】

人的被害：死者 18名
行方不明者 3名
人家被害：全壊 39戸
半壊 27戸
一部損壊 186戸

※1 集計開始以降(S57~R1)の平均土砂災害発生件数:1,105件/年
※2 うち、令和2年7月豪雨による土砂災害発生件数は226件

※これは速報値であり、数値等は今後変わることもあります。

7/7発生
がけ崩れ
ひた あまがせまち あかいわ
大分県日田市天瀬町赤岩



9/6発生
土石流等
ひがしうすき しいぼそん しもふくら
宮崎県東臼杵郡椎葉村下福良



7/8発生
地すべり
させぼ おがわちちゆう
長崎県佐世保市小川内町

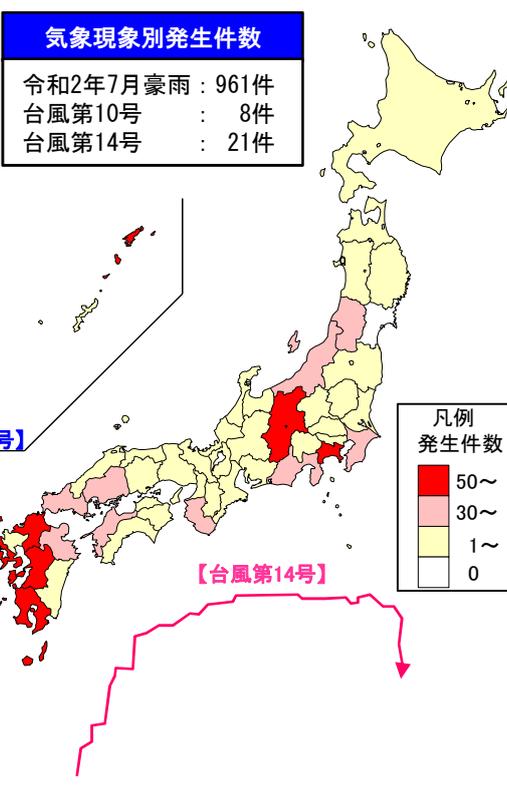


7/4発生
がけ崩れ
あしきた あしきたまち ふしき
熊本県葦北郡芦北町伏木氏



気象現象別発生件数

令和2年7月豪雨 : 961件
台風第10号 : 8件
台風第14号 : 21件



7/30発生
地すべり
もがみ おおくらむら みなみやま
山形県最上郡大蔵村南山



7/4発生
土石流等
あしきた つなぎまち ふくほま
熊本県葦北郡津奈木町福浜

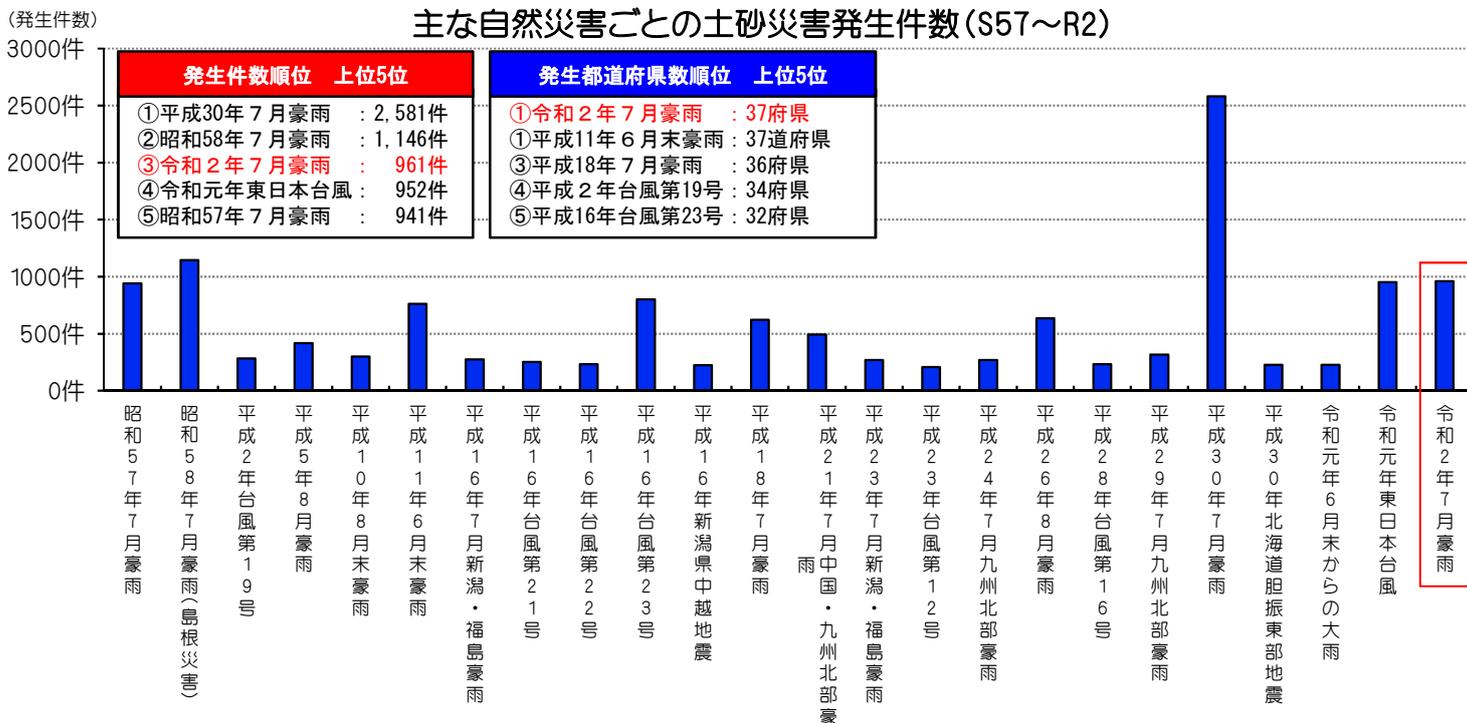


7/12発生
土石流等
しもいな てんりゆうむら あしげ
長野県下伊那郡天龍村足瀬



令和2年の年間の土砂災害発生件数

- 令和2年7月豪雨では、**37府県で961件**の土砂災害が発生した。
- 記録に残る主な自然災害の中で、**土砂災害の発生が確認された都道府県数は1番多く、発生件数においても3番目であり、過去最大クラスの広域災害であった。**
- 甚大な被害を受けた一方で、**砂防関係施設が効果を発揮し、人家等を保全した事例も確認された。**



令和2年7月豪雨による土砂災害発生件数

(7月3日~31日発生を集計)

土砂災害発生件数 961件(37府県)

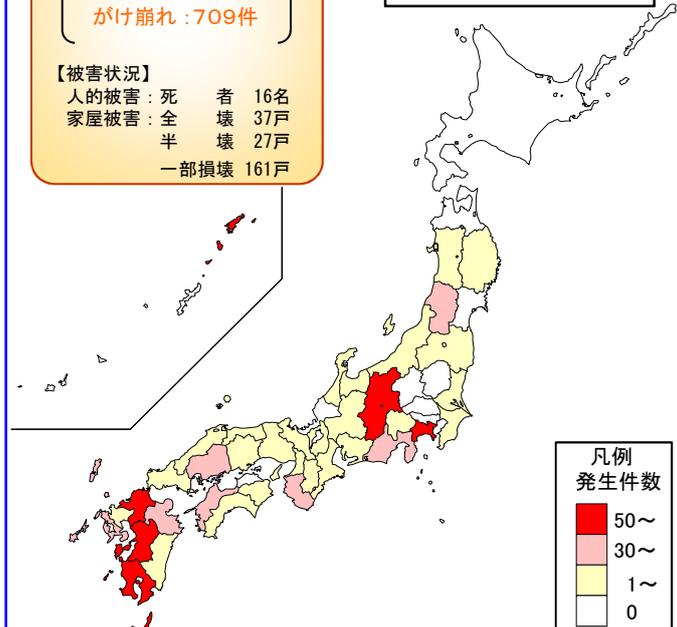
土石流等 : 178件
地すべり : 74件
がけ崩れ : 709件

【被害状況】

人的被害 : 死者 16名
家屋被害 : 全壊 37戸
半壊 27戸
一部損壊 161戸

発生件数上位5県

熊本県	226件
鹿児島県	76件
長野県	73件
福岡県	62件
神奈川県	61件



○地域毎の発生状況

北海道 : 0件、	東北 : 44件、	関東 : 167件、
北陸 : 29件、	中部 : 72件、	近畿 : 54件、
中国 : 82件、	四国 : 48件、	九州 : 465件、
沖縄 : 0件		

令和2年7月豪雨における砂防関係施設の効果事例

砂防えん堤が土石流を捕捉 (広島県広島市西区)



地すべりの発生を未然に防止 (山形県最上郡大蔵村)



急傾斜地崩壊防止施設が崩落土砂を捕捉 (静岡県賀茂郡松崎町)



土砂災害発生件数(都道府県別内訳)

これは速報であり、今後数値は変わる可能性があります。

地域	都道府県	発生件数
○北海道	北海道	11件
○東北	青森県	1件
	岩手県	1件
	宮城県	0件
	秋田県	8件
	山形県	37件
	福島県	6件
○関東	茨城県	7件
	栃木県	1件
	群馬県	1件
	埼玉県	1件
	千葉県	37件
	東京都	5件
	神奈川県	104件
	山梨県	3件
	長野県	99件
○北陸	新潟県	42件
	富山県	7件
	石川県	7件
○中部	岐阜県	22件
	静岡県	48件
	愛知県	17件
	三重県	12件

地域	都道府県	発生件数
○近畿	福井県	1件
	滋賀県	3件
	京都府	10件
	大阪府	2件
	兵庫県	8件
	奈良県	2件
	和歌山県	48件
○中国	鳥取県	15件
	島根県	27件
	岡山県	4件
	広島県	43件
	山口県	36件
○四国	徳島県	5件
	香川県	1件
	愛媛県	35件
	高知県	25件
○九州	福岡県	62件
	佐賀県	18件
	長崎県	73件
	熊本県	227件
	大分県	42件
	宮崎県	20件
	鹿児島県	121件
○沖縄	沖縄県	11件

計:1,316件